



インターナショナルオフィス長のご挨拶

インターナショナルオフィス長 笥 善行

2015年4月1日付で香川大学インターナショナルオフィス（KUIO）長に就任いたしました。私は、2006年4月から2年間医学部の国際交流委員会の委員長をつとめさせていただいたことがございますが、その頃はまだKUIOは活動しておりませんでした（KUIOは2009年から活動を開始）。当時、医学部はブルネイ王国のブルネイ・ダルサラーム大学（UBD）と学部間交流を開始したところでした。その後、UBDとの交流は他学部にも広がり大学間交流へと発展して参りましたが、この発展にはKUIOの皆様のご助力が大変大きかったと思います。



現在、香川大学は海外の53の大学と学術交流協定を締結しています。その他に学部間交流も活発に進んでおります。KUIO長に就任してわずか5ヶ月足らずですが、すでに私の書棚には6つの表敬訪問団をお迎えした際の記念写真が飾ってあります。記念写真を撮影しなかった非公式の訪問もいくつかありました。このように香川大学の国際交流活動は私の想像よりもはるかに活発になされております。この陰にはKUIO所属の教員や職員をはじめ、国際交流委員会のメンバーや各部署の教職員の方々の積極的なご支援があります。あらためて感謝申し上げたいと思います。

さて、大学の発展における国際交流活動は生命線の一つです。香川大学はKUIOを中心に4&1プランを策定し、平成35年までに外国からの留学生を年間400人規模まで拡大することを宣言しております。また、本学学生の3ヶ月以上の留学も年間100人を目指しております。こういったプランが成功するためには、香川大学が国際的な視点でアカデミックスタンダードに十分達している必要があります。また、世界に向けてつねに情報発信していく必要があります。文部科学省も留学生支援を積極的に進めており、産学官連携の留学生支援プランであります「トビタテ！留学 JAPAN」プロジェクトには本学学生も積極的に応募し採択されてきております。海外留学を志す日本人学生は一時減少してはいましたが、機運は再び上向いて来ているように感じております。この機運を大きく育てるためにもインターナショナルオフィスの役割はきわめて重要になっております。KUIOは部局横断的な組織ではありますが、国際交流という横糸を通じて香川大学の発展に寄与していきたいと思っておりますので、大学の教職員、学生の皆様の益々のご支援を宜しくお願いいたします。

<国際交流活性化の推進>

学術交流協定締結調印

- 2015年 3月13日 本学大学院地域マネジメント研究科とナポリフェデリコ2世大学農学部との交流協定
- 2015年 4月24日 本学とフロリダ・バレンシア大学地区理事会及び大学生協中国四国事業連合との間のJ国際交流訪問者プログラムに関する覚書
- 2015年 8月 3日 本学教育学部とガウハチ大学地理学部との学術交流協定書
- 2015年 8月 5日 本学教育学部とインド工科大学グワハチ校との学術交流協定書
- 2015年 9月13日 熱帯農業に関するSUIJI (Six-University Initiative Japan Indonesia) コンソーシアム協定書(再締結)

(国際グループ 上田幸司)

第5回SUIJIセミナー開催

平成27年9月12日(土)～14日(月)、本学において、第5回SUIJIセミナーを開催しました。

SUIJI(Six-University Initiative Japan Indonesia)は、平成23年に創設したインドネシア3大学(ガジャマダ大学、ボゴール農業大学、ハサヌディン大学)、四国3大学(愛媛大学、香川大学、高知大学)の6大学のコンソーシアムであり、熱帯地域における農業発展に関する教育研究を協働で推進することを目指すものです。1日目は、午後から6大学SUIJI推進室会議の実施、その後の歓迎パーティーでは、参加した教員、学生の相互の交流が行われました。セミナー総会である2日目は、まず、機構



署名式典

長である本学の長尾学長による歓迎の挨拶のあと、「国際連携教育・研究と今後の取り組み」について、各学長等からの発表、続いて、学生プレゼンテーションが行われました。

また、「SUIJIサービスラーニング・プログラム(SUIJI-SLP)覚書」の更新のための署名式典が行われ、今後5年間のさらなる協力を約束しました。

今回のセミナーを通じて、6大学が今後とも協力関係を強固なものとし、更なる活動が期待できます。

(国際グループ 上田幸司)

学生等によるインターナショナルオフィス表敬訪問

平成27年6月2日(火)、コロラド州立大学(アメリカ)で日本語を学習している学生7名及び教員1名が、筧インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。

本学とコロラド州立大学は国際交流協定を締結しており、本学の教育学部を中心に交流が盛んです。今回訪問した学生は、6月1日から7月3日までの5週間、本学教育学部の「アジア・アメリカ異文化交流短期受入プログラム2015」に参加し、ホームステイや、地域コミュニティとの交流などを通じて、日本の文化への理解を深めました。



コロラド州立大学学生



チェンマイ大学学生

7月14日(火)、アジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目的とした独立行政法人科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」に本学が採択され、招へいされた外国人研究者等9名が、筧インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。



さくらサイエンスプラン参加者



テキサスA&M大学

8月5日(水)、テキサスA&M大学コマース校グローバルプログラム事務局長Jacques L.Fuqua, Jr氏が、筧インターナショナルオフィス長を表敬訪問しました。

当日は、筧インターナショナルオフィス長及びロンインターナショナル副オフィス長が出迎え、歓談しました。

8月18日(火)、本学農学部の「食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム」に参加している中国、インドネシア、カンボジア、フィリピン、タイ、ベトナム、ブラジル、アメリカ、トルコ、メキシコの協定校等に在籍する学生28名が、筧インターナショナルオフィス長を表敬訪問し、歓迎の挨拶、教職員紹介の後、学生は、自己紹介とプログラムの意気込みを話していました。

(国際グループ 上田幸司・浅野文恵)



プログラムの参加者

JICA「コミュニティ・イニシアティブによる初等教育改善プロジェクトフェーズ2」 国別研修受託の実施

平成27年5月12日(火)から5月22日(金)まで、インターナショナルオフィスは、独立行政法人国際協力機構(JICA)がラオスで実施している「コミュニティ・イニシアティブによる初等教育改善プロジェクトフェーズ2」の国別研修を受託し、ラオス就学前・初等教育局・教育スポーツ省副局長をはじめ、教育行政官14名を受入れ、生徒評価等についての研修を実施いたしました。

研修は、本学をはじめ、教育学部附属高松小学校、香川県教育センター、高松市立栗林小学校等で実施され、研修員は、香川県における教員養成課程及び現職教員研修、小学校での授業視察、大学での講義等を受講しました。

(国際グループ 上田幸司)



歓迎会



本学教育学部附属教職支援開発センターで
講義受講

JICA日系研修「実践型 速習MBA」を実施

平成27年5月18日(月)から5月29日(金)まで、インターナショナルオフィスは、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施している日系研修事業を受託し、日系ブラジル人研修員8名に、座学と香川県を代表する企業等への訪問を組み合わせた実践的な研修を実施しました。

研修員は、ブラジル国内企業、公社、自治体等の中堅若手クラスで構成され、講義や国際展開をしている企業訪問等を通じて、日本的経営の実践的知識等を学びました。(国際グループ 上田幸司)



企業視察



評価会

帰国留学生ネットワーク中国支部第4回総会の開催

平成27年8月8日(土)、香川大学帰国留学生ネットワーク中国支部第4回総会が、本学協定校である天津農学院を会場に開催されました。

香川大学の各学部・研究科や旧医科大学で学んだ帰国留学生とその家族など約50名が集い、本学からは長尾学長、今井田医学部長、片岡農学部長、徳田医学部教授、姚経済学部教授、楠谷農学部名誉教授、ロンインターナショナル副オフィス長、笹嶋国際グループサブリーダーが出席しました。



長尾学長を囲んで記念撮影

帰国留学生ネットワーク中国支部は香川大学を卒業、修了した帰国留学生相互の親睦・情報交換を図るとともに、本学の国際交流の推進に寄与することを目的として、平成21年6月に中国北京で設立しました。

総会では、現役員等が第3期の総括を行った後、新たに第4期役員を選出が行われました。

隔年開催のこの総会のため中国各地から駆けつけた元留学生達からは、香川大学時代の思い出や帰国後の活動の報告があり、皆で、今後の交流のため、一層のネットワーク拡大を誓いました。



崔会長の再任が決まった総会



ロンインターナショナル副オフィス長による大学紹介

午後から香川大学一同は、今回特別に、会場の天津農学院の邢学長を表敬訪問し、希少糖プロジェクトなど香川大学の代表的な研究の現状を紹介する一方で、会長の崔教授と楠谷名誉教授との共同研究が進展している中国の良食味米育成のプロジェクトの説明を受けるなど、さらに広い分野での研究交流についても意見交換を行いました。

今後、元留学生との連携協力のみならず、本学の学部を超えた国際共同研究交流の推進が期待されます。
(国際グループ 笹嶋孝司)



邢学長への研究成果説明

<学生対象行事>

平成27年度4月期新入外国人留学生ガイダンス

平成27年4月5日(日)、インターナショナルオフィスは、平成27年4月期入学の外国人留学生に対し「新入外国人留学生ガイダンス」を開催し、47名の留学生が参加しました。

当日は、高松北警察署から講師をお招きし、生活様式や交通ルールの違いから起こりやすい事件・事故を未然に防止するための「法令遵守ガイダンス」も行いました。講師からは、生活安全関係では加害者や被害者にならないために、麻薬や万引き・ひったくり等の身近な犯罪行為について、交通関係では留学生の多くが利用する自転車のルールや罰則について映像を交えたり、実物の自転車を使ったりする説明がありました。



ガイダンスの様子



実演を伴う説明

(国際グループ 金 錫換)

平成27年度春季海外留学フェア

平成27年4月22日(水)、インターナショナル主催「海外留学フェア」を開催しました。筭インターナショナルオフィス長の挨拶の後、平成26年度の交換留学生(日本人学生)としてチェンマイ大学(タイ)とブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム)へ派遣された学生による帰国報告を行いました。続いて、インターナショナルオフィスの非常勤教員 Seksiri Niwattisaiwong 先生による、チェンマイ大学の紹介も実施しました。

後半は、本学と連携協力推進の覚書を交わしているJICA四国から、支部長代理・尾上能久氏と岡山萌美氏をお招きして、青年海外協力隊やインターンシップの募集説明をしていただきました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



学生による帰国報告



JICA四国支部長代理 尾上能久氏

課外教育行事(小豆島)



マルキン醤油記念館での集合写真

平成27年 5月30日(土)に課外教育行事を行い、外国人留学生65名、日本人学生(チューター) 4名が参加しました。

この行事は、留学生や日本人学生が、香川県の伝統文化等への理解を深めるとともに、学生間の交流の場を提供することを目的としたものです。

午前中には日本三大渓谷美の一つである寒霞渓で日本の自然を、午後からはマルキン醤油記念館にて日本の味の素となる醤油造りの歴史や製造方法などを学びました。特に有形登録文化財に指定

された合掌造りの建物は留学生にとって一つの見どころでした。

続いて訪れたオリーブ公園では約100年にわたる日本のオリーブの歴史について学習ができました。

最後に多くの映画などのロケーションとしても有名なエンジェルロードを訪ね、香川県と小豆島の観光業等についても考える時間が出来、有意義な学習の場になりました。

(国際グループ 金 錫換)



醤油造りの過程の展示

外国人留学生への就職支援 「百十四銀行セミナー」

平成27年 6月17日(水)、百十四銀行研修会館にて、百十四銀行就職セミナーが実施されました。本セミナーは、本学が実施したものではありませんが、香川県留学生等国際交流連絡協議会の事務局が設置されている本学が、百十四銀行にご提案をいただいたことにより実現したもので、今回が2回目となります。本学から11名、高松大学から4名の留学生が参加しました。

人事部より「会社の歴史・事業内容」、市場国際部より「会社の国際業務について」というお話を伺うことができ、続く質疑応答では、留学生も積極的に質問していました。加えて今回は、就職した先輩留学生のお話を伺うこともできました。セミナー後半では懇親会の時間も設けられ、充実した交流の機会となりました。このように企業側からお申し出いただくことはなかなかないケースであり、本学にとって貴重なセミナーとなっています。

全学的な学生の就職支援はキャリア支援センターが担当していますが、インターナショナルオフィスも、留学生を対象とした就職支援を行っています。秋ごろからは、就職活動準備セミナー、就職活動支援セミナー、企業見学会などの学生対象のものに加え、企業様を対象とした会合も実施し、本学留学生と企業との接点を増やしていく予定です。これらの活動により、日本での就職を希望する本学留学生と企業がよりよい形でマッチングされていくことを願っています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



資料を見ながらお話を伺う学生たち

平成27年度春期留学生センタープログラム修了式

平成27年7月29日(水)、国際ナショナルオフィス留学生センターに所属し、今学期を以てプログラムを修了する4プログラム計8人の合同修了式を開催しました。修了生の所属プログラムと内訳は次のとおりです。

- ・文科省「日本語予備教育」2名(ともにバングラディッシュ、今後は本学農学研究科へ進学予定)
- ・「さめきプログラム」2期生3名(いずれもブルネイ)
- ・「ディスカバー香川」1期生1名(ブルネイ)
- ・文科省「日本語・日本文化研修」2名(メキシコ、ポーランド)

留学生センター長の挨拶で開式し、全員が日本語でスピーチを行った後、留学生センター長より修了証書が授与され、閉会後には写真撮影とささやかなティータイムの時間が持たれました。予備教育とさめきプログラムの学生は、4ヶ月前に「あいうえお」から始めたとは思えないほどの立派なスピーチを、渡日1年になるディスカバー香川と日研生の3名は、この1年の努力が窺える内容の濃いスピーチを披露し、各プログラムの締めくくりにふさわしい、印象的な式となりました。この8名は、授業外での交流も活発で、互いに本当に良い関係性が築かれたと思います。香川でのこの縁や学習・経験が、今後の生活の中で意味を持って活かされていくことを願っています。

(国際ナショナルオフィス 塩井実香)



記念撮影



修了生によるスピーチの様子

平成27年度「夏季海外渡航者向け危機管理セミナー」

平成27年8月5日(水)、国際ナショナルオフィス主催「海外渡航者向け危機管理セミナー」を開催しました。株式会社JTBサポートプラザ大阪ビジネスサポートセンターのマネージャー・梶村詔子氏を講師としてお招きしました。

海外渡航や海外留学する日本人学生が微増するなか、海外渡航中に事故や事件に遭う日本人のニュースも聞かれます。梶村様には、「海外研修/留学生のための海外リスクマネジメント」として、海外渡航中に起こり得るさまざまなリスクと事故を、国別、地域別にご説明いただきました。

後半は、ジェイアイ傷害火災保険株式会社中国四国支店の長沼康行氏から、本学日本人留学生の多くが加入するジェイアイ傷害火災保険の窓口対応についてご説明いただきました。

留学先での学修を有意義なものとするためにも、自分の身の安全の確保には十分気をつけてください。

(国際ナショナルオフィス 正楽 藍)



危機管理セミナーの様子



講師：梶村詔子氏

オープンキャンパス2015

平成27年8月6日(木)、香川大学オープンキャンパス2015(幸町キャンパス)において、在学中の海外留学支援を含む、本学における国際交流活動についての紹介イベントをEnglish Caféで実施しました。

非常勤教員を含むインターナショナルオフィス教員による英語によるゲームの他、海外留学支援制度や奨学金、外国人留学生との交流活動、授業内外での外国語学習の講座などの紹介を行いました。30名弱の来訪者があり、本学入学後の国際交流活動についてのイメージを膨らませてくれたことと思います。

また、当日は、経済学部ゼミナール連合協議会が実施した学生イベントにも参加し、海外留学支援制度や奨学金の紹介の他、来訪者に対する個別相談を行いました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



オープンキャンパスの様子

幸町キャンパスEnglish Caféにおける英語の授業

平成27年春から、幸町キャンパスのEnglish Caféにおいて、インターナショナルオフィス所属の非常勤教員による3つの英語の特別授業が開始されました。1つ目は、英語によるディスカッションとプレゼンテーションの力をつける「English Roundtable」です。授業では毎回、日本人学生による10分間のプレゼンテーションならびに質疑が行われた後、非常勤教員が定めたテーマに関し、参加者全員でディスカッションを行います。

2つ目は、TOEIC SWを受験したい学生のため、ビジネス単語を練習したり、英語を話す能力や書く能力を伸ばしたりする授業「TOEIC SW」です。受講生は、本授業を受けた後に実際にTOEIC SW試験を受けます。



「なでしこジャパン」についてプレゼンテーションする日本人学生

3つ目は、英語の文法や発音を向上させるための授業「English Studio」です。この授業では決まったテキストは使わずに自由な形式で英語の練習をします。受講生はさらに、任意で英作文も提出し、非常勤教員による添削を通じて、英作文能力も上達させています。



English Roundtable の授業風景

これら3つの授業のほか、English Caféでは学期を通して多くの楽しい英語の活動が行われており、多様な学部、学年の学生が活動に参加しています。2015年度後期のEnglish Caféでの授業や活動について詳しいことを知りたい方は、English Caféにお越しください。

(インターナショナルオフィス

Erik Davis・細田尚美)

<FD・SD>

平成27年度インターナショナルオフィスFD・SDワークショップ 「海外渡航者メンタルヘルス」

平成27年8月7日(金)、インターナショナルオフィス主催FD・SDワークショップ「海外渡航者メンタルヘルス」を開催しました。

ワークショップの講師として、株式会社保健同人社のEAPコンサルタント、臨床心理士の秦泉寺晶子氏をお招きし、「ストレスの理解と不調者ケア&留学生サポートのご案内」についてご講演いただきました。日本人留学生の“不調”のサインを見逃さないために気に留めておくべきことや、彼らへの相談対応の際に心がけるべきことなど、我々教職員がつい自分の基準で判断しがちな細かなことをご教示いただきました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



秦泉寺晶子氏による講演

<外国人留学生リクルーティング活動>

各種進学説明会

インターナショナルオフィスは、留学生のリクルーティング活動および広報活動として、各種説明会に参加しています。説明会にはJASSO主催の大規模なもの以外にも、民間企業主催のものもあり、会場はイベント会場や日本語学校の校内などがあります。

6月から9月にかけて、岡山で3回、大阪で4回、高松で1回の説明会に参加しました。大阪ではもう1回参加を予定していましたが、天候不良により延期されてしまいました。多くの留学生が本学ブースを訪れ、主に入試制度や奨学金について我々に質問しました。秋には、ベトナムでの留学フェアも予定されています。優秀で意欲のある留学生が、進学先として本学を選択してくれることを願っています。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



本学ブース

開催日	開催地	備考
6月1日(月)	岡山	
6月27日(土)	大阪	日本語学校の教員(主に進路指導者)が対象
7月8日(水)	岡山	
7月9日(木)	高松	
7月17日(金)	大阪	校内ガイダンス、台風のため延期
7月18日(土)	大阪	JASSO主催「外国人学生のための進学説明会」
7月22日(水)	岡山	校内ガイダンス
8月20日(木)	大阪	校内ガイダンス
9月7日(月)	大阪	
10月31日(土)	ベトナム(ハノイ)	JASSO主催日本留学フェア
11月1日(日)	ベトナム(ホーチミン)	JASSO主催日本留学フェア

<地域との交流活動>

留学生宿舎での交流会

平成27年6月27日(土)、香川大学花園寮の入居学生と寮近隣の地域の方々との交流を図るため、また、日本文化を体験することを目的として、「花園寮交流会」(そうめん流し)を開催しました。

交流会当日は天気にも恵まれ、寮生らは、そうめん流しの竹を設置したり、稲荷ずしを作ったりして、地域の方々をお迎えする準備に励みました。準備が整ったところで寮生代表が地域の方々をご案内し、花園町自治会長様を始めとする地域の方々にご参加いただき、和やかな雰囲気での交流しました。



花園寮での寿司づくり



花園寮の様子

また7月11日(土)には、留学生会館で同様に交流会を開催しました。留学生会館は男子寮と隣接していることもあり、近隣の地域の方々に加えて男子寮の学生も参加しました。そうめん流しでは会話が弾み、食後には留学生と地域の子どもたちが水鉄砲やサッカーを共に楽しみ、大いに盛り上がりました。

このような交流の機会を通して、地域の方々との円滑なコミュニケーションを図り、今後も、お互いに気持ちよく生活できる環境を整えていきたいと思います。

(国際グループ 浅野文恵)



留学生会館での竹組み立て



留学生会館の様子

留学生の声



Md. Shahadat
Hossain

Learning While Enjoying at Kagawa University

I have already spent four months at Kagawa University. I can sharply remember the day when I first arrived in Takamatsu from Kansai Airport. I got warm reception by Professor Takamizu, and my tutor Nozomu Fukui. Life style in Japan is quite different from Bangladesh where I was born. Realizing this, KU arranged an international student orientation program and made us familiar to Japanese life style which I found very important when I am exposed to outside of university. I participated in Japanese language course and successfully completed this course. Along with Japanese language course, I took part in four courses that are related to Japan's culture, current affairs etc. These classes were very enjoyable and informative regarding Japan. Three from Brunei and two from Bangladesh, altogether five students always attended the same classes. I also met other international students from Germany, Mexico, China, Korea, Indonesia, Malaysia, and Costa Rica. We share our ideas and had fun when meeting with each other. KU arranged study tours every year. This time, I participated in Shodoshima island study tour with Japanese and international students. The tour was very pleasurable to me. I also got opportunity to know more about Japan by Home Visit Program. I had wonderful experience regarding home visit program 2015. I got free health checkup in Kagawa University. The teachers, students and staff members of Kagawa University are very helpful, collaborative and kind. I feel lucky to be a part of Kagawa University.



Afroza Sultana

My experience in KU

This is Afroza Sultana, from Bangladesh. I have come here in April, 2015 after getting the MEXT scholarship. I am here for completing doctoral course under the faculty of Agriculture, but before entering into the graduate school of Agriculture it was compulsory of my programme to study about Japanese language and Japanese culture. So I studied 4 months as a research student in Kagawa University main campus.

Actually for the first time before coming here I was afraid about my life in Japan. But after joining to Kagawa University really I am happy after seeing their hospitality and warm welcoming behavior each and every time. I could not find a single major problem during this short period of staying here in Kagawa. Every time I found friendly and kind helping hand beside me. I was really surprised of such kind of collaboration. I am thankful to the teachers, students and administrative staffs here in this university, because when I need something I go to them immediately and then I feel my tension is finished. Really they help a lot and after knowing my need they feel it's their need, not mine. That's why they try to solve my problem as early as possible and I stay without any tension. There is no need to explain about my teachers here; because it seems to me I am here with my family. They don't treat like a student rather than like a family member. As I know some language and culture of Japan now, so my life is easier than previous time. I was really astonished about the lesson delivery system in Kagawa University. I didn't feel any problem during studying the language and culture. They are now my inspiration to go ahead. Just in short, I can say I am lucky being a student of Kagawa University.

インターナショナルオフィスからのお知らせ

平成27年度秋の「海外留学フェア」を開催します。詳細が決まりましたら、インターナショナルオフィスのウェブサイト(下記参照)や構内の掲示板等でお知らせします。

海外留学フェア、その他の海外留学情報(奨学金等)をメールマガジンで配信しています。受信を希望する本学学生は、stu-abr@ao.kagawa-u.ac.jpまでご連絡ください。送信時、メールの件名は「海外留学情報希望」、本文には学籍番号と氏名、メールアドレスを記載してください。

海外渡航する本学学生には全員、「海外渡航届」の提出が義務付けられています。私事渡航(プライベートの海外旅行等)の際も届が必要です。また、本学の制度を通して3ヶ月以上の海外渡航をする学生には、誓約書の提出も義務付けられています。「海外渡航届」と誓約書の様式は各学部学務係で入手し、必ず渡航前に提出してください。

<p>香川大学 インターナショナルオフィスニュース 第13号 2015年(平成27年).9.30</p>	<p>香川大学インターナショナルオフィス 〒760-8521 高松市幸町1-1 Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1192 E-mail : soryugase@jim.ao.kagawa-u.ac.jp URL : http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/ 留学生センターfacebook URL : http://www.facebook.com/KUISC</p>
--	--